

23 建企 第209号  
平成23年 6月28日

各 位

長 崎 県 土 木 部

### 設計業務成果品の品質確保について（通知）

設計業務成果品の品質確保の一貫として、受注者が行う照査における提出資料等を追加することとしましたので、お知らせします。

#### 記

#### 1. 照査における追加資料等

（1）照査の実施において、特記仕様書で規定している詳細設計照査要領に加えて「設計業務成果品点検チェックリスト（H21年6月）〔一部H23年4月更新〕」に該当する工種がある場合は、当該チェックリストを照査報告書に添付し提出する。なお、設計業務成果品点検チェックリストは、九州地方整備局のHPからダウンロードすること。

[http://www.qsr.mlit.go.jp/kensetu\\_joho/index.html](http://www.qsr.mlit.go.jp/kensetu_joho/index.html)

（2）詳細設計照査要領に基づき実施した照査で、照査技術者が適切（○）と判断した内容及び照査において指導・指摘を行った過程を把握する目的で、照査結果一覧（別添）を照査の各段階で作成する。発注者は、照査結果一覧も含めて照査状況の把握を行うこと。照査結果一覧は、照査報告書へ添付し提出する。

（3）照査技術者の配置を求めている業務は、原則、検査時に照査技術者を同席させ、照査結果についてのヒヤリングを行うこと。

2. 適用年月日：本通知時以降公告及び入札執行通知するものに適用する。

長崎県 土木部 建設企画課 技術基準班



## 建設技術情報等

平成13年より九州地方整備局へ移行しましたが、掲載内容の一部に旧名称(第四港湾建設局、九州地方建設局)のまま使用している箇所がありますので、ご了承下さい。

### 調査・設計関係

#### 九州地方整備局「設計業務等共通仕様書(案)」等の一部改定について

- [第1編 共通編\(H23年3月\)【PDF】](#)
- [第2編 河川編【PDF】](#)
- [第3編 海岸編【PDF】](#)
- [第4編 砂防編【PDF】](#)
- [第5編 ダム編【PDF】](#)
- [第6編 道路編【PDF】](#)
- [地質・土質調査業務共通仕様書\(案\)\(H23年3月\)【PDF】](#)
- [測量業務共通仕様書\(案\)\(H23年3月\)【PDF】](#)
- [発注者支援業務共通仕様書\(案\)\(H22年3月\)【PDF】](#)

#### 設計業務成果点検用チェックリスト(H21年6月)[一部H23年4月更新]

#### 「設計図書の照査ガイドライン(案)」(H19年4月)【PDF】

#### 建設コンサルタント業務等におけるプロポーザル方式及び総合評価落札方式の現状の考え方(平成23年4月)【PDF】

#### 「建設コンサルタント業務等におけるプロポーザル方式及び総合評価落札方式の運用ガイドライン」

#### 九州地方整備局「土木工事設計要領」(平成22年度版)

- [第Ⅰ編 共通編](#)
- [第Ⅱ編 河川編](#)
- [第Ⅲ編 道路編 \(H22.8.4 一部修正\)](#)

#### 建設コンサルタント業務の「積算基準書」及び同(参考資料)について

### コスト構造改善

**道路関連(橋梁構造物)**

H22-010 鋼上部工(単純合成鈹桁橋)  
H22-011 鋼上部工(連続合成鈹桁橋)  
H22-020 鋼上部工(単純非合成鈹桁橋)  
H22-021 鋼上部工(連続非合成鈹桁橋)  
H22-030 鋼上部工(単純合成箱桁橋)  
H22-031 鋼上部工(連続合成箱桁橋)  
H22-040 鋼上部工(単純非合成箱桁橋)  
H22-041 鋼上部工(連続非合成箱桁橋)  
H22-042 鋼上部工(単純合成開断面箱桁橋)  
H22-043 鋼上部工(連続合成開断面箱桁橋)  
H22-044 鋼上部工(単純鋼床版鈹桁橋)  
H22-045 鋼上部工(連続鋼床版鈹桁橋)  
H22-046 鋼上部工(単純鋼床版箱桁橋)  
H22-047 鋼上部工(連続鋼床版箱桁橋)  
H22-050 鋼上部工(単純合成H桁橋)  
H22-060 鋼上部工(単純非合成H桁橋)  
H20-061 鋼上部工(単純トラス橋 下路形式)  
H20-062 鋼上部工(単純トラス橋 上路形式)  
H20-063 鋼上部工(連続トラス橋 下路形式)  
H20-064 鋼上部工(連続トラス橋 上路形式)  
H20-065 鋼上部工(方杖ラーメン橋)  
H20-066 単純プレビーム合成桁橋  
H20-067 連続プレビーム合成桁橋  
H20-068 単純合成床版橋(中空)  
H22-070 PC上部工 PC単純ポストテンションT桁橋  
H22-071 PC上部工 PC連結ポストテンションT桁橋  
H22-072 PC上部工 PC単純プレテンションT桁橋  
H22-073 PC上部工 PC連結プレテンションT桁橋  
H22-080 PC上部工 PC単純箱桁橋  
H22-081 PC上部工 PC連続箱桁橋  
H22-090 PC上部工 PC連続ラーメン箱桁橋  
H22-100 PC上部工 PC単純コンボ桁橋  
H22-101 PC上部工 PC連結コンボ桁橋  
H22-110 PC上部工 PC単純中空床版橋  
H22-111 PC上部工 PC連続中空床版橋  
H22-120 PC上部工 PC単純プレテンションホロー桁橋  
H22-121 PC上部工 PC連結プレテンションホロー桁橋  
H22-130 RC上部工 RC単純中空床版橋  
H22-131 RC上部工 RC連続中空床版橋  
H22-140 RC上部工 RC床版橋(充実)  
H22-141 RC上部工 RC単純T桁橋  
H22-142 RC上部工 RC連続T桁橋  
H20-143 RC上部工 RC連続ラーメン橋  
H20-144 PC上部工 PC斜材付π型ラーメン橋  
H20-150 立体横断歩道橋(上部工)  
H20-160 立体横断歩道橋(橋脚工)  
H20-170 側道橋(歩道橋)  
H20-171 側道橋(アルミ桁)  
H22-180 逆T式橋台工  
H22-190 重力式橋台工  
H22-195 ラーメン式橋台工  
H22-200 RC張出し式橋脚工  
H22-210 RC張出し式橋脚工(PC梁)  
H22-215 RC壁式橋脚工  
H22-220 RCラーメン式橋脚工  
H22-225 中空式橋脚工  
H22-230 RC橋脚工(動的照査法)  
H22-240 鋼製橋脚工(単柱)

**道路関連(土木構造物)**

H22-680 箱型函渠工(1層1径間)  
H20-681 プレキャストボックスにウイング取  
H22-690 箱型函渠工(1層2径間)  
H20-700 箱型函渠工(1層3径間)  
H22-710 逆T式擁壁工  
H22-720 L型擁壁工  
H20-730 U型擁壁工  
H22-740 重力式擁壁工  
H22-741 大型ブロック積み擁壁工  
H20-742 もたれ式・井げた組擁壁工  
H22-750 重力式擁壁工(標準図対応)  
H22-760 一般構造物基礎工(既製杭)  
H22-765 一般構造物基礎工(場所打ち杭)  
H22-770 一般構造物基礎工(深礎杭)  
H20-775 地滑り対策抑止杭(深礎杭)  
H22-780 鉄筋挿入工(ロックボルト)併用の  
H22-790 グラウンドアンカー併用のり杵工  
H22-800 軟弱地盤対策工(基礎地盤解析)  
H22-810 軟弱地盤対策工(薬液注入工)  
H22-820 軟弱地盤対策工(置換工)  
H22-830 補強土(テールアルメ)壁工  
H22-831 補強土(ジオテキスタイル)壁工  
H22-832 補強土(多数アンカー)工法  
H20-833 軽量盛土(EPS)工法  
H22-834 軽量盛土(FCB)工法  
H22-840 落石防護柵・落石防護柵基礎工  
H22-841 仮設防護柵工  
H22-842 覆式落石防護網工  
H20-843 雪崩予防施設  
H22-844 水路工・ます・蓋  
H22-850 水路工・ます・蓋  
H20-851 調整池  
H20-852 路面覆工  
H22-860 道路詳細設計(普通道路)  
H22-861 道路詳細設計(高規格本線)  
H22-862 道路詳細設計(高規格連結施設)  
H20-863 道路詳細設計(高規格休憩施設)  
H22-870 平面交差点詳細設計  
H20-880 標識柱・標識基礎工  
H20-890 照明詳細設計  
H20-891 トンネル照明  
H20-892 情報管路工  
H22-900 トンネル工  
H20-901 トンネル非常用施設  
H20-902 トンネル換気施設  
H20-903 ラジオ再放送設備  
H20-910 電線共同溝  
H20-920 開削共同溝  
H20-930 シールド共同溝

**河川関連**

H22-W10 樋門  
H20-W11 水門  
H20-W20 排水機場  
H22-W30 護岸工  
H20-W31 矢板護岸工  
H22-W32 築堤工  
H20-W33 築堤工(侵食に対する照査)

H22-250 鋼製橋脚工(ラーメン式)  
H22-260 橋脚基礎杭(既製杭)  
H22-270 橋脚基礎杭(場所打杭)  
H22-280 橋台基礎杭(既製杭)  
H22-290 橋台基礎杭(場所打杭)  
H22-300 ケーソン基礎  
H22-305 橋脚基礎杭(鋼管矢板ウエル)  
H22-310 橋脚基礎杭(深礎杭)  
H20-320 橋脚基礎杭(斜面上深礎杭)  
H20-325 橋台基礎杭(斜面上深礎杭)  
H22-330 橋脚基礎杭(鋼管ソイルセメント杭)  
H22-335 橋台基礎杭(鋼管ソイルセメント杭)  
H20-350 遮音壁  
H22-360 落橋防止(RC沓座拡幅)  
H22-370 落橋防止(鋼製沓座拡幅)  
H22-380 落橋防止(緩衝チェーン)  
H22-390 落橋防止(RC突起)  
H22-400 落橋防止(鋼製突起)  
H22-410 落橋防止(鋼製ストッパー)  
H22-420 落橋防止(アンカーバー)  
H22-430 落橋防止(PC鋼棒・ケーブル)  
H22-440 落橋防止(PCケーブル・上部連結)  
H22-450 落橋防止(PCケーブル・上下部連結)  
H22-460 落橋防止(アンカーバー・新橋)  
H22-470 落橋防止(RC突起・新橋)  
H22-480 落橋防止(PC鋼棒・新橋)  
H22-490 落橋防止(PCケーブル・新橋)  
H22-500 床版補強(上面増厚)  
H22-510 床版補強(鋼板接着)  
H22-520 床版補強(縦桁増設)  
H22-525 床版補強(炭素繊維)  
H22-530 支承補修・補強・取替  
H22-540 橋脚補強(RC巻立・単柱式)  
H22-550 橋脚補強(RC巻立・壁式)  
H22-560 橋脚補強(RC巻立・ラーメン式)  
H22-570 橋脚補強(鋼板巻立)  
H22-580 橋脚補強(繊維材巻立)  
H22-590 橋脚補強基礎杭(場所打杭)  
H22-600 工事用仮橋  
H20-610 一般併用仮橋  
H22-620 架設工 1 or 2  
H22-630 架設工 3  
H22-640 土留工(鋼矢板)切梁又はアンカー工  
H22-650 土留工(親杭横矢板方式)切梁又はアンカー工  
H22-660 土留工(自立式鋼矢板)  
H22-661 土留工(鋼矢板)控え杭タイロッド  
H22-670 土留工(自立式親杭横矢板方式)  
H22-671 土留工(親杭横矢板方式)控え杭タイロッド  
H20-672 土留工(竹割り型)

H20-W34 築堤工(浸透に対する照査)  
H20-W40 砂防えん堤  
H20-W41 堰の床版工  
H20-W50 流木対策工  
H20-W60 流路工

# 〇〇設計照査結果一覧(例)

照査段階		照査日	
項目	主な内容	照査資料	照査結果(指摘内容)
照査①	1) 設計の目的、趣旨	業務計画書	〇/〇 業務計画書を確認及び技術者へのヒヤリングにより、設計の目的・趣旨は〇であることが確認でき、理解していると判断できる。
4	設計基本条件	基本条件検討書	〇/〇 構造形式の決定根拠が不明確であり、適正であるかの判断ができなため、再度検討を指示した。
	10) 塩害に対する検討を確認したか	基本条件検討書	〇/〇 塩害に対する検討が行われていないため、検討を指示。
照査②	1) 上部構造	一般図及び設計条件検討書	〇/〇 適用基準は〇〇を使用して設計しているが、〇〇も検討資料として行うべきであることから、再度、適用すべき基準書の検討を指示した。
	9) 架設法を設計に考慮したか	一般図及び設計条件検討書	〇/〇 架設法を設計に考慮していないため、架設法を考慮する旨を指示。
照査③	1) 設計計算書	設計計算書	〇/〇 打合せ事項は反映されている
	5) 許容応力度の取り方は正しいか	設計計算書	〇/〇 許容応力度は、基準の〇〇から取っており、適切と判断した。
			〇/〇 発注者との協議記録を確認した結果、打合せ事項は全て設計に反映されていると判断した。
			〇/〇 架設法を考慮して行っていため、適当と判断した。
			〇/〇 塩害に対する検討は、基準の〇〇から検討を実施しており、〇〇を採用していることから、適切であると判断した。
			〇/〇 適用基準は、〇〇、〇〇を使用することが確認できたので、適当と判断した。
			〇〇 〇〇 印
			〇〇 〇〇 印

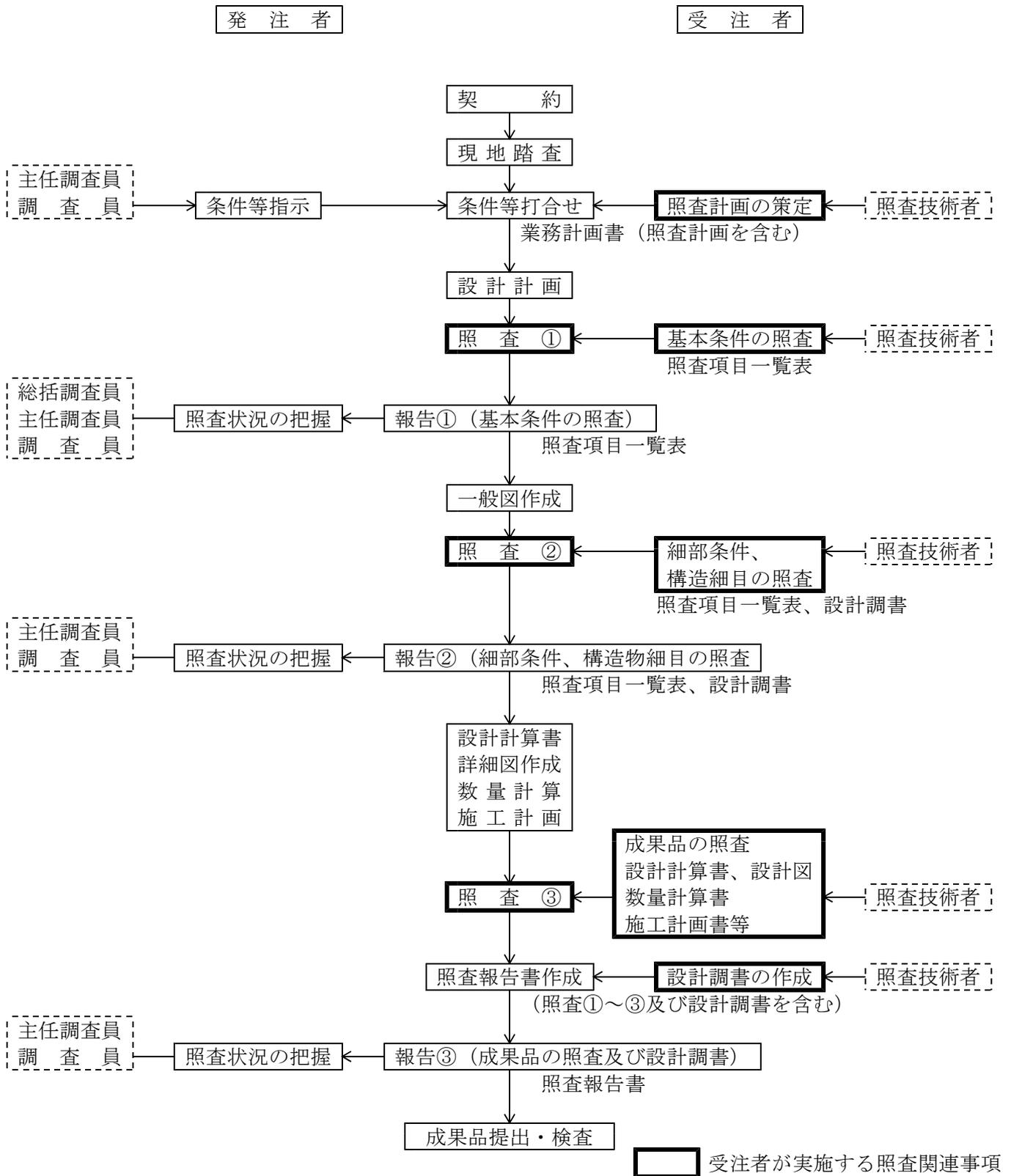
注1) 本一覧は詳細設計照査要領(建設弘済会)の照査項目及び内容と同一とすること。

注2) 照査結果は、確認方法、確認資料名、指摘内容・指導事項を具体的に記載すること。指摘等が無い場合は、その判断した理由・内容を記載すること。

注3) 照査において、修正を指示し、再度照査を行った日にち全てを記載すること。

注4) 詳細設計照査要領にない内容で疑問点があった場合は、その内容を管理技術者と協議して追加し、その結果を記載すること。

# 詳細設計照査フローチャート



注 記 ※ 照査②の段階より、設計調書の有効活用を図る。  
 ※※ 工程に関わる照査・報告①②③の時期は、業務計画書提出時に打ち合わせにより設定する。